

船舶事故等調査報告書

平成22年1月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第141号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年3月29日 12時15分ごろ	
発生場所	三重県熊野市 遊木港B南防波堤灯台から真方位263° 100m付近 (概位 北緯34° 55.5′ 東経136° 09′ 9″)	
事故等調査の経過	平成21年5月28日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 漁船 徳丸、1.3トン ME3-60785（漁船登録番号）、個人所有</p> <p>B 漁船 第三徳栄丸、0.4トン ME3-61841（漁船登録番号）、個人所有</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 船長、一級小型船舶操縦士</p> <p>B 船長、二級小型船舶操縦士</p>	
死傷者等	<p>A なし</p> <p>B 負傷 1人（船長）</p>	
損傷	<p>A 船首及び船底外板に擦過傷</p> <p>B 右舷側外板き裂、防舷物脱落、船首マスト損傷</p>	
事故等の経過	<p>A船は、船長Aが1人で乗り組み、操業を終了して遊木漁港に帰航中、船長Aが同漁港沖側のB南防波堤（以下「防波堤」という。）付近で錨泊中のB船を視認していたが、防波堤付近に差し掛かるころ、倒れた釣り竿を片付けている間、接近するB船から目を離したため、平成21年3月29日12時15分ごろB船と衝突した。</p> <p>B船は、錨泊して防波堤付近で釣りを行っていたが、船長BがA船が通航する側に釣り竿を出していたので取り込もうとしたときに衝突した。</p>	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東南東、風力 2	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>A あり B なし</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>A船は、船長Aが錨泊中のB船を認識していたが、竿を片付けている間にB船から目を離し、見張りを行っていなかったため、B船に接近していることに気付かなかった可能性があると考えられる。</p>
原因	本事故は、A船が遊木漁港に向かって帰航中、B船が同漁港沖側の防波堤付近で錨泊中、A船が見張りを行わなかったため、B船に接近していることに気付かず航行し、両船が衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。	